

少人数教室での個別最適化の取り組み

～ 兵庫県 明石市立中崎小学校 ～



実際の授業の様子を動画でご覧いただけます。▲

明石市教育委員会では、2020年度より、『みんなの学習クラブ』を全小中学校でご導入いただいています。休校をきっかけに子どもたちの学習機会を保证するため、『みんなの学習クラブタブレット』の個人IDを全児童生徒に配付し、授業や家庭学習などで活用しています。今回は、明石市立中崎小学校の少人数授業での取り組みをご紹介します。

少人数授業・ICT活用能力の向上の取り組み

2021年度からの1人1台タブレットでの活用に向けて、2020年度中からICTの活用能力を高める取り組みを進めています。限られた環境の中で、工夫しながら少人数授業を中心に、『みんなの学習クラブ』を活用しています。

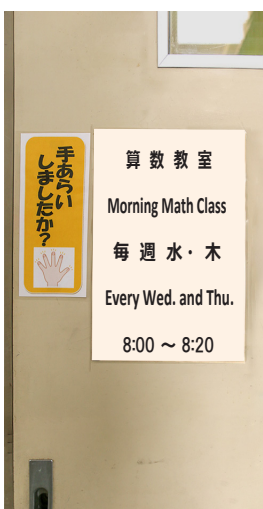
◆少人数授業の取り組み

兵庫県では、きめ細やかな指導を目指し、5・6年生で算数の少人数授業が行われています。中崎小学校では、クラスを半分に分け、少人数授業を実施しています。

少人数担当の先生のクラスでは、タブレットを使いながら、学習を進めています。もう一方のクラスでは、担任の先生がプリントを配付して、学習しています。单元ごとにタブレットを使うクラスを交代します。

◆朝や業間休みでも活用

少人数教室にタブレットをおいているので、授業以外の時間でも活用することができます。始業前や、2時間目と3時間目の業間休みにも学習している児童もいます。譲り合いつながり、利用したい時間にタブレットで学習します。



◆少人数教室のICTの環境



▲PC1台をモニターに接続



▲タブレット10台(うち1台をプロジェクターに接続)

◆個人IDでログインして学習

この少人数授業の中で、『みんなの学習クラブ』を、ほぼ毎時間活用しています。この少人数授業では、タブレットの活用力の向上と学習意欲を高めることを特に意識されています。児童は、iPrideの学習がとても楽しそう、個人IDのログインも慣れた様子で自分のペースで学習しています。



▲5年生の様子

『個別最適化』『メタ認知』で学習意欲を引き出す授業

1. 本時の学習(30分)

学習内容にもよりますが、授業はできるだけ30分にまとめます。先生は、前時の学習内容を想起させ、前時との違いを「比較」「関連」させながら授業を進めます。多くの児童が積極的に授業に参加し、先生からの発問がなくても、自ら発問を予想し「気づき」を発表する児童もいました。



メタ認知能力・学習意欲を高める仕掛け

授業が始まると、ほとんどの児童が手を挙げて授業に意欲的に参加していました。始まる前から手を挙げる準備をする児童もいます。手を挙げるときは、発表した回数を指で表します。

これは、自分の学習意欲を『メタ認知』できるようにするための仕掛けです。授業の最後には発言回数を表に書きます。自分の学習を具体的な数字で『メタ認知』できるようにしています。



2. 個別最適化した演習

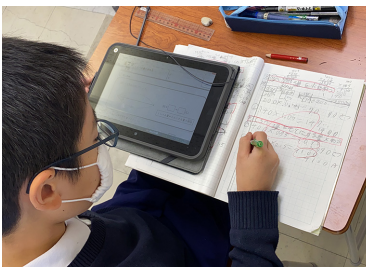
① 教科書演習

後半15分は、演習の時間です。黒板には教科書ページとiプリ番号で課題が明記されています。授業のまとめが終わったら、まずは、教科書の練習問題を自分のページで取り組み、先生が確認・丸付けをします。



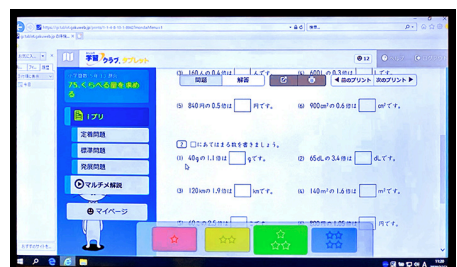
② iプリ

教科書演習が終わった児童から、タブレットを取り、iプリで学習していきます。タブレットの台数に限りがあるので、パソコンを共有し、工夫して学習を進めます。画面上に問題を表示し、授業のノートに解答を書いて学習を進め、自分で丸付けします。iプリが早く終わった児童から定着や標準プリントなど続きのプリントでさらに学習を進めていきます。



3. 学習理解度を記録する

iプリの学習後、画面の4つのボタンを押します。緑ボタン(★3つ)で評価している児童は、「ほとんどわかっていただけど、計算ミスで間違えたから」と、自分の状況を『メタ認知』し、自己評価ボタンをクリックしていました。



子どもたちの様子

授業が始まる前から、手を挙げる準備をしている児童がいるなど、授業に積極的に参加していました。また、いつもほとんど同じ形式で授業を進めているので、授業後半のタブレットを使った学習も楽しみにしており、思わず『iプリ早くやりたい!』と言っている児童もいました。iプリは、学習しやすいように、『楽しい』と言っている児童が何人もいました。

今後の目標

来年度には、1人1台タブレットとなるため、授業の中だけでなく、朝の学習タイムなどでも活用し、活用の幅を広げていきたいと考えています。